

2023 平和旬間



「希望をもってともに歩む Let's hope and walk together
～あきらめずに目を覚ましてStay awake, never give up～」

姫路教会平和旬間行事

平和旬間とは？

1981年、教皇ヨハネ・パウロ2世は「平和の使者」として、日本を訪問され、広島では「平和アピール」を日本国内外に発信されました。そこで、その翌年（1982年）、司教団は、もっとも身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と決めました。ともに平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のために行動する機会にしようという願いが込められています。

（カトリック中央協議会「平和旬間とは？」より）

日時：8月6日（日）・8月13日（日）両日とも11時より ザビエル館にて

テーマ： **戦争を忘れないで**

— 子どもも大人も皆で映画を見て、平和の大切さを知ろう！ —

- 8月6日（日）「^{ほた}火垂るの墓」、8月13日（日）「島守の塔」の映画を上映します。
- どちらでもご都合に合わせて参加してください。皆で映画を見て、今こそ平和の大切さを知っていきましょう。

映画の紹介

「火垂るの墓」 両親を亡くした兄と妹が池のほとりで生活しながら、戦時中の混乱を生き抜こうとするアニメ映画。作家野坂昭如さんの実体験が描かれている。（88分）

「島守の塔」 昨年の夏公開され、幅広い年代が映画館に足を運び、ロングラン上映となった映画。沖縄県最後の官選知事の目を通して、最後の沖縄戦における実態を描いている。（130分）

場所：カトリック姫路教会

JR 姫路駅から 1.5 km (079-222-0043)

